

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 163 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2025 年 05 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

今年もまたキンラン・ギンランと出会えた 4 月末！

4 月の定例作業日 (4/29) は、

夜半ころまでの雨は上がり、清々しい朝をむかえて、動き出すと暑くなりました。

当日の参加者は 21 名 (新規参加者 4 名)。

休日ということもあって、9 時過ぎから続々と一般の利用者が集まってきており、デイキャンプ場も満杯・・・。

そこで集合場所を、旧管理棟前広場に変更して、ラジオ体操と写真撮影を実施。そして班分けに・・・。

林内班 10 名は、第二駐車場～桜木神社通り側での作業。

ゴミ (巡回) 班 11 名は、バイオネストの補修作業後、東西通り～サッカー場の西側でオオブタクサに挑戦。休憩後、湿地にてセイタカアワダチソウに挑戦。コース記号は、* - K-L-l-F-a' -k-i-ロ- i-j-L-K となります。

湿地は前日の雨で、じめじめ状態でした。



04/29 集合写真]

まずはゴミ (巡回) 班の**水島**

さんからの報告・感想です。

『まさに五月晴れの素晴らしい天気に恵まれました。

半袖でちょうど良い気温で、活動していると汗ばむほどでした。

バイオネストの補修作業をしてから、灰かに花の香りのする東西通りの新緑のなかを歩くと心が弾んで来て、楽しい気持ちになります。

カルチャーパークならではの体験が出来る、すがすがしい気分にはしゃぐれる貴重な時間です。

サッカー場の周辺で「オオブタクサ」を探しましたが、まだ小さいせいか特徴のある三角の葉はなかなか見つかりませんでした。

小休止の後、湿地に行き、次は「セイタカアワダチソウ」です。

湿地に多く見られる雑草で、群生していましたが、それを根元から引き抜くのはなかなかコツがいり、途中で折れてうまく出来ないものです。あまりに多くて全部は取り切れませんでした。

湿地の真ん中にある「しだれ桜」はすっかり桜の花は落ちていましたが、新緑の鮮やかな緑でおおわれていて、そ

の存在感をアピールしているように感じられました。



[湿地のしだれ桜-04/06]

写真は 4 月 6 日に撮影したもので、昨年に比べると桜の花は多く咲いていませんでした。桜の木に葛がしっかりと絡みついており、これが原因でたくさん咲かなかったのでしょうか。

葛も桜の木に絡みついて生きているのかと思うと、自然界の生き方も厳しいものがあるのかと思いました。

久しぶりの昼食会です。女性陣が何時ものように、いろいろとおかずを持ってきてくれました。

また、4 月から参加の男性が手作りの「おから」を差し入れてくれて、これが美味で野菜、こんにゃく、鶏肉も入りとても良い味でした。

たくさん作ったのでと 2 パックもらい、その夜の酒のつ

まみに楽しみながら大変美味しくいただきました。

ごちそうさまでした。』



[04/29 ゴミ班集合]



[04/29 バイオネスト補修・張り紙]



[0429 キンラン～園路沿い]



[0429 ギンラン～園路沿い]



[04/29 挑戦！オバタクサ]



[04/29 挑戦！セイタカアワダチソウ]

なお、ゴミはそれほど集まりませんでしたし、写真も撮り忘れました。

次いで、林内班の**三浦さん**からの報告・感想です。

『この日の天気予報は、一年の中で10日あるかないかの好天気（特異日）になるとのこと、また朝と日昼の気温差が22度～23度差が大きいので体調には注意とあった。

驚いたのは北海道の積雪、日本列島の北と南でかくも天気が異なるものと驚きも。

自転車で走っていると何時もと空気感が違い、頬に触れる風も柔らかで爽やか、心浮き浮きする感じだ。

桜木神社通りの両側の森も、萌黄色と濃い緑のグラデーションに覆われたトンネルの中を通るのは実に爽快だ。カルチャーパークに着くと。デイキャンプの準備や子供達など大勢の利用者で休日ならではの賑わいを見せていた。

集まったのは21人。常連参加のほかに、市民大学28期卒業生の同好会員7人（5月定例活動日には20数名参加予定でその先遣隊として参加した）、また、市の広報を見て初参加の〇氏（狭山ヶ丘在住で

電車とバスを乗り継いで1時間以上かけて参加の奇特な方）と多彩なメンバーが集まってくれた。

この日キャンプ地やテーブルの施設は全て予約で埋まっていたので、集合地は旧管理事務所前の広場に変更。

参加者確認、準備体操、集合写真後は、ゴミ収集・巡回班と林内班それぞれ11人と10人に分かれスタートした。

林内班は、今回も第二駐車場近くに荷を下ろし何時もながらの刈り払い、落下枝、笹、春芽生えた背丈の高い草の引き抜きと集積等に従事した。また、前回の活動日に発見された倒木と伐採した樹の計測も行った。

根ごと倒れた木は、目通り径(直径)が40cm、長さ10m、大きく傾いて危険視された桜は、目通り径(直径)40cm、長さ7.5mといずれも大木だった。立っていると怖さは感じないが、横倒しになったのは想像を超えた大きさに見えるものだ。これまで立ち枯れした樹の伐採の必要性を何度も繰り返してきたのは、今回のような事が二度と再びあって欲しくないと感じたからにほかならない。是非真摯に受け止めて早めの対応を心から望みたい。倒れた樹はチェーンソーの刃を替え大まかな玉切りなど最小限の処理をした。

一回の休憩を挟み作業を終えたが、園路側から見ても林

床がすっきりした景色に変わ
いかにも武蔵野の林さながら
感じになった。この日の作業
の褒美はスプリングエフェメ
ラルの代表格「キンラン」だ
った。刈られた林床に一際目
立って咲いていた。季節の変
わり目毎に見られる自然から
の贈り物は何にもまして癒や
される。天気良し・景色良
し・花良し三拍子そろった作
業日だった。』



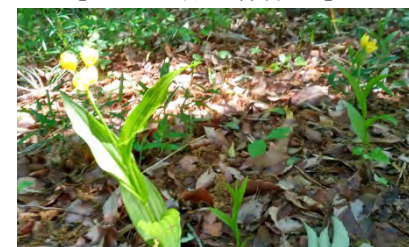
[04/29 林内班集合]



[04/29 林内作業-1]



[04/29 林内作業-2]



[04/29 林内のキンラン]

作業終了後の昼食会は 9 名
の参加でした。



[04/29 食事会]

~~~~~

#### 4月の第二業日(4/15)は、

朝の5時前にザッと雨が降っ  
ていましたが、予報ではすぐ  
やむようでしたのでひと安  
心。確かに晴れ間が出てきま  
した。しかし、風が強く、  
長距離自転車車のチョコさん  
のように、電車・バス・徒歩で  
来られた方もいらっしゃいま  
した。また、帰りが向かい風で  
大変だった方もいらっしゃっ  
たようです。おつかれさまで  
した。

当日の参加者は13名。

ゴミ班は、新規参加者が加  
わって6名で巡回。

林内班の7名は、B-3区域  
(第二駐車所 - 桜木神社通り)  
での整備作業。



[04/15 集合写真]

林内班の三浦さんからの報  
告・感想です。

『気象予報では、最低気温  
10度、最高気温21度、曇  
り、午前から強風が吹くとの  
こと。

遠目に見えるカルチャーパ  
ークの森は、萌黄色から濃い

緑のグラデーションに彩ら  
れ、一年の中でも最も美しく  
まばゆく、心までが弾む感じ  
だ。

河津桜から山桜、染井吉野  
から今は濃いピンクの八重桜  
が有終の美を飾るかのよう  
に咲き誇っていた。風は強いが  
爽やかさを感じるこの日集ま  
ったのは13人。前回活動日か  
ら初参加Y氏に続き今回初の  
H氏が加わった、いずれも市  
民大学生の縁とのこと。集合  
写真撮影後、ゴミ収集班6  
人、林内班7人に分かれての  
スタート。

林内班はこの日も第二駐車  
場と桜木神社通りに面した一  
帯とし、作業は落下枝集め、  
アカメガシワなど低木の伐  
採、そして刈り払いだ。

作業着手前に林の中を見る  
と前回の活動日には無かった  
大木が根ごと倒れているのが  
見えた。またその直ぐ近く  
には左に大きく傾いて今にでも  
倒れそうな大木も見えた。恐  
れていたことが現実になって  
しまったようだ。自然に倒  
れたのか、風が原因かは不明  
なので近くに行ってみると倒  
木はコナラ、傾いているのは  
桜の枯木といずれも半端ない  
大きさだ。悩ましいのは傾い  
た樹だ、このまま放って大丈  
夫か、見れば見るほど怖そ  
う。とりあえずこの状況を作  
業前の皆に知らせて注意喚起  
して貰うことにして、どう処  
理するか否かはその次に考え

るしかない。選択肢は二つ、伐採かそのままかの一択しかないが、このサイズの樹の伐採は危険が伴い我々の手には負えない。プロに任せるのは当然だが、ことは緊急を要する状況をこのまま放置するのは忍びない。

しばし逡巡し思い悩んだ。直ぐ市に連絡すべきだが時間はかかるだろう、かと言って次の活動日まで安全の保障も無い、その間に倒れてもし事故が発生したら最悪だし、後悔が残る。ボランティアの分を超え覚悟を決め伐採に挑戦しようそう決断した。如何に安全に伐採出来るか、一人行動は厳禁であり鉄則だ。そこでY氏と相談し手伝って貰うことにした。私はチェンソー、Y氏には周囲の安全と伐採する木の微妙な動きを監視してもらうことにした。がいざ作業し始めて直ぐ思わぬ誤算が生じた。朝、M氏から既にチェンソーの刃を新しいのに交換してあるとのこと、切れ味も良いので手順さえ間違えなければ巧くいくと踏んで取り掛かったのだが、「あれッ！切れない！」刃が樹に食い込まない。手順は初めに倒す方向を見定めて「受け口」をつくってから「追い口」をつくり狙い通りの方向に倒すのがノウハウなのに刃が樹に食い込まず中途半端な状態になってしまった。伐採は一旦刃を入れたら途中で中止する

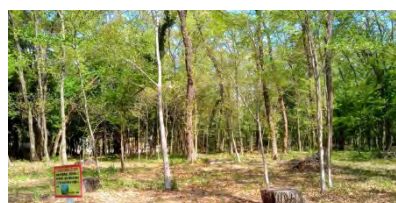
のが一番危険だ。刃を見ると既に何度か使用された痕跡があり、切れないのはそのせいだと判ったが時既に遅しである。「やるしか無い」状態の窮地に。作業終了時間が迫る焦りもあったが渾身の思いが通じたか倒すことに成功した。疲労困憊状態だ。ボランティアの役割を超えた挑戦が無謀であったと反省もしたが、直近の危険な状況を見過ごし出来ず深く考えずに行動してしまったが、無事にやり遂げられたことで得た安堵と達成感に満足感もあり「まあ良いか」と自分に言い聞かせて終えたこの日の作業だった。』



[04/15 林内班集合]



[04/15 林内作業-]



[04/15 林内状況]

ゴミ班の6名は、東西通り～県道沿い～サッカー場～湿地～霊園通り～桜木神社通り～中央通り、と廻りました。

コース記号は、K-L-1-F--G-0-P' -a-a' -k-i-ロ-i -C-U-C-B-j-L-K となります。

湿地は、踏み込むとジンワリと にじみ出しがありました。

ウグイス・シジュウカラなどのさえずりが聞こえました。



[04/15 ゴミ班集合]



[04/15 ツル払い]



[03/11 ゴミ集約]

~~~~~

「自然観察会報告」

(小茂田さんから)

4/26(土)、カルチャーパーク自然観察会が開かれました。

市主催のカルチャーパークの自然を守り考える「未来会議」が令和5年度6年度と設けられ終了。その後、市民として観察会・バイオネスト・プレーパーク等などそれぞれ

市と連絡をとりながら「カルパーぐるぐるネットワーク」として継続しています。

今回も、植物関係は平城尚史さん、生き物関係は河野宏和さんに講師をお願いし、平城先生5回目、河野先生2回目となります。

この日、パーク内には滑り台中心にご家族連れなど多くの方が来場していました。

管理事務所前に集まり、開始時間でも人数に余裕あり近くの方に呼び掛け、結果的に3家族・お子さん4名・総勢16名（応援隊から5名）となりました。先ず河野先生よりパーク内で出会いそうな「危険な生物」をパネル写真を見ながら説明がありました。

オオスズメバチ...、大きなものは嬢王蜂で特に注意！（実際、途中で先生が捕獲し、ビンに入れ観察）

ヤマカカシ...、過去にパーク内にいた。毒はマムシやハブの数倍。ひと通り注意事項を伺い、ディキャンプ場のアカシダから植物観察に。

バイオネストの所では、お世話係り西尾さんから、落ち葉～たい肥へ、生きものの住処～自然循環を生かした大切な場所と説明あり。

事実、モリチャバネゴキブリの幼虫が見られました。「このまま落ち葉を上に重ねて形を整えると良いですね～」と河野先生より。

付近にはキンランも咲き始

めていました。「森の整備・草刈りをした結果が開花に繋がる」と平城先生から。またキンランは菌根菌であり、土の中の菌と根が繋がって自然で育ち、例え持ち帰っても育つものでは無いことも話されました。

また近くにアメリカオニアザミ（生態系に被害を及ぼすおそれの外来種）を発見、西尾さんが根から切り出してくださる。

その他イロハモミジ・エゴノキ・ジュウニヒトエ・西洋ジュウニヒトエ・イヌザクラ・ヒゴクサ・シラーカンパニュラータ・タチツボスミレ・アメリカスミレサイシン・クチナシグサ・フジカンゾウ・ヌスビトハギ・キウイ・ツルニチニチソウ・クヌギ実生・ウバユリ・ムラサキケマン・ミズキ・キツネアザミ・オオアマナ...など見ることが出来ました。またヤマトシリアゲ・クビキリギリス・アシダカグモの虫類。

ガビチョウの豊かな鳴き声を聞くことが出来ました。

何より子どもさん達の生き生きとした姿が嬉しい観察会となりました。

5月の作業予定

定例作業日:5月27日(火)

この日は作業終了後現地にて
食事会をします(参加自由・弁当持参)

第二作業日:5月13日(火)

作業時間 9:30～11:30

*** 作業内容: ゴミ拾い・林内作業**

*** 持ち物:** 手袋、タオル、雨具、
飲み物、念のため、保険証・
お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、
深澤まで[090-8014-3310]
連絡下さい。

2025年5月～8月の予定-

5/13(火) 5/27(火: 定例)

6/12(木) 6/24(火: 定例)

7/15(火) 7/29(火: 定例)

*6月～7月でも、「熱中症警戒アラート」が発令された場合は中止します。

*8月は現地作業は中止します。

*8/26は、懇談会と納涼会を予定します。

自然観察会の日程

年	月 日	曜日	時 間	テーマ
2025	6月28日	土	10:00 ～ 12:00	梅雨の間の植物たち 初夏の生きもの～バッタ・カタツムリ ほか
	8月16日	土	9:00 ～ 11:00	夏に花たち 夏の生きもの～セミ、カブトムシ、カナヘビ ほか
	10月26日	日	10:00 ～ 12:00	秋の七草を探す 秋の生きもの～トンボ、カマキリ ほか
	12月20日	土	10:00 ～ 12:00	いろんな落ち葉、いろんな木の実 冬の生きもの～フユジャクガ、クヌギカメムシ産卵ほか
	2月14日	土	10:00 ～ 12:00	冬芽と葉痕 冬越しの生き物たち～イラガの繭 ほか



[04/29 にぎわう宿泊キャンプ場]



[04/29 続々と詰掛ける利用者]

各種感染症注意!!

コロナをはじめとして、各種感染症が流行しています。手洗いなどの感染対策とともに、日常からの、「バランスのとれた栄養補給」「適度な運動」「快適な睡眠」などで、しっかりと体調管理をしましょう。

コロナ対策の基本について

WHO は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナウイルスは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

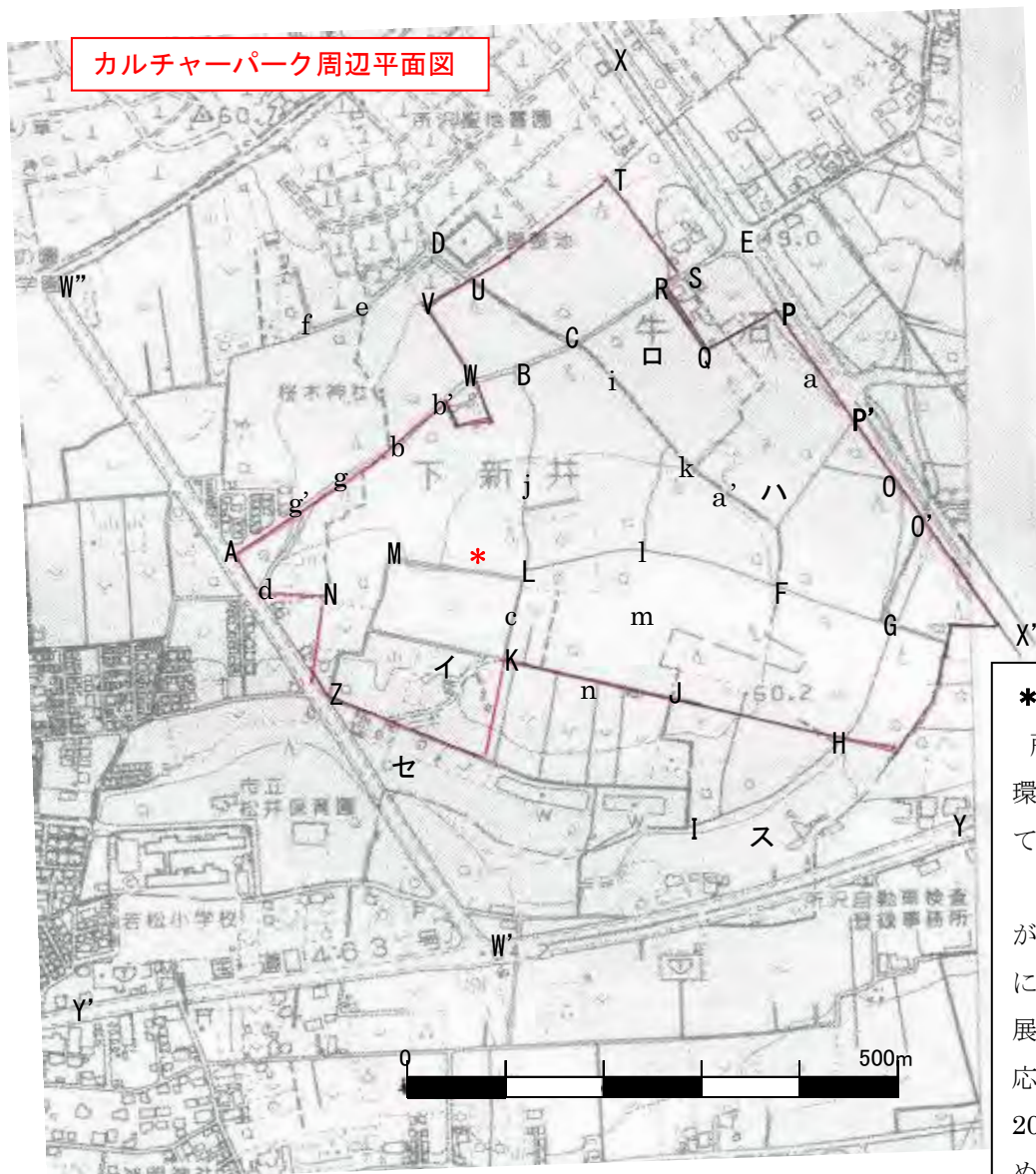
新型コロナ発生時の対応

- ①毎回参加者名簿を作成する
(三浦さんがつけている出欠簿による)。
- ②次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
イ. 症状があり、検査を受けた時。
ハ. 検査結果と医師・保健所などの指示があったとき。
- ③陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

感染予防対策、

- ・間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・マスク着用：各自の判断とします。
- ・作業間隔の短縮・水分補給。
- ・使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。
なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。

皆さんからの御意見をお寄せください。

*この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」ののった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。